

競技上の注意

（公財）全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部

1 競技規則

本大会は、2023年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則ならびに（公財）全国高体連ハンドボール専門部内規及び申し合わせにより実施する。

2 競技時間

- ① 30分（前半）－10分（休憩）－30分（後半）とする。
- ② 延長戦は、準決勝戦までは第一延長を行う。それでも勝敗が決しない場合は、7mスローコンテスト（5人制）で勝敗を決する。決勝戦は、第二延長まで行い、それでも勝敗が決しない場合は、7mスローコンテスト（5人制）で勝敗を決する。
- ③ 加算式の電光表示時計を使用する。
- ④ 競技終了・チームタイムアウトの合図は、ホーン（ブザー）で行う。
- ⑤ 退場時間は、退場者電光表示板で表示する。入場はチームの責任によって行う。

3 大会使用球

（公財）日本ハンドボール協会検定球（人工皮革）を使用する。

〔品番 モルテン 男子 H3X4000 女子 H2X4000 ミカサ 男子 HB3000 女子 HB2000〕

奇数年度	男子	女子	男子	女子	
第1日目・・・	モルテン	ミカサ	準々決勝・・・	ミカサ	モルテン
第2日目・・・	ミカサ	モルテン	準決勝・・・	モルテン	ミカサ
第3日目・・・	モルテン	ミカサ	決勝・・・	ミカサ	モルテン

4 競技会場

（男子 岐阜県） 岐阜メモリアルセンター で愛ドーム 38m×20m（2面）
※4日目以降 40m×20m（1面）
岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム 40m×20m（1面）

（女子 三重県） ・サオリーナ メインアリーナ 40m×20m（2面）
・サオリーナ サブアリーナ 40m×20m（1面）

5 ユニフォームの確認等

- ① ユニフォームの確認は、第一試合は開始時間30分前、第二試合以降は前試合の前半終了直後に、試合会場ジャッジズテーブル前で行う。その試合に着用する全てのユニフォームを持参すること。
- ② メンバー表の提出の代わりに、各コート台帳で確認する。
- ③ トスはユニフォーム確認時に行う。

6 参加資格等について

- ① 代表者会議で決定したチーム役員・選手のみが競技に参加できる。
- ② ベンチは、役員4名（監督1名・役員3名とし引率責任者を含む、また生徒役員は2名までとする）・選手16名の計20名以内とする。役員はプログラムに記載された者で、本大会専用のIDカードを着用する。その他に許可される者として、臨時トレーナー1名を追加できる。
- ③ 公式記録用紙に記載されている者だけが、交代地域に入ることができる。

- ④ チーム責任者は、試合開始前に、チーム役員および選手の氏名と背番号が正しく記載されているかを確認し、記録用紙にサインする。
- ⑤ 選手・役員は試合前のユニフォーム確認時に登録証を一括提出(5①)し、さらに試合直前に審判員から本人の確認を受ける。

7 2足制の厳守

体育館シューズ、屋外シューズを区別し、内外兼用は禁止する。

8 松ヤニ等の使用について

全ての競技会場において両面テープのみの使用を許可する。(松ヤニおよび松ヤニスプレーは不可とする)

9 交代地域での飲料水使用について

- ① コップ等の使用をさげ、ストロー付、または飲み口の細い容器を使用する。
- ② 交代地域及びベンチ付近がぬれないよう配慮する。

10 裁定委員会 上告委員会 TO

- ① 本大会に裁定委員会(競技委員長・競技副委員長・総務委員長・審判長)、上告委員会(大会委員長・大会副委員長・総務委員長・大会委員長が指名した委員)を置く。なお、必要に応じて関係者を同席させる。
- ② 裁定委員会は、大会に関係した全ての問題を審議し、その対応を決定する機関である。
- ③ 本大会にMOを3回戦より置く。(2回戦まではタイムキーパーを行うTDが兼務する)

11 その他

- ① ユニフォーム等の着替えは、必ず更衣室を利用すること。
- ② 新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の位置づけが変更されたため、ガイドラインを設定しないが、引き続き手洗い等の手指衛生、換気、三つの密の回避等、場面に応じた基本的な感染対策を心掛けること。
- ③ 新型コロナウイルスやインフルエンザへ感染した場合の対応は、学校保健安全法施行規則「出席停止の期間の基準」に準じて対応すること。